

特集 仕事と子育てについて考えてみよう

- 新庁舎に男女共同参画コーナーを開設
- 男女きらきら北本いっしょにプログラム
登録団体紹介「美食くらぶ」
- DV (ドメスティック・バイオレンス) とは？

特集

仕事と子育てについて 考えてみよう

～みんなの子ども！みんなで子育て！～



仕事・家事・育児
一人でやるのは大変
でも、みんなで協力しあえば
続けられるよ

みんなに支えられて
好きな仕事を
続けることができるわ



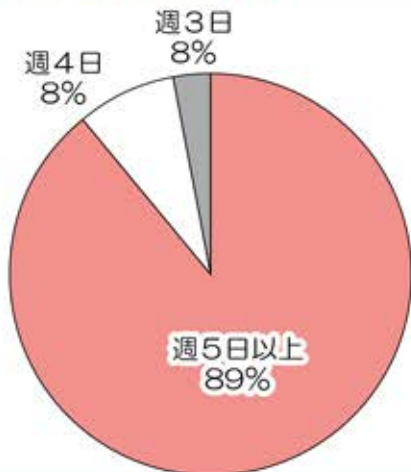
仕事と子育てについて考えてみよう

～みんなの子ども！ みんなで子育て！～

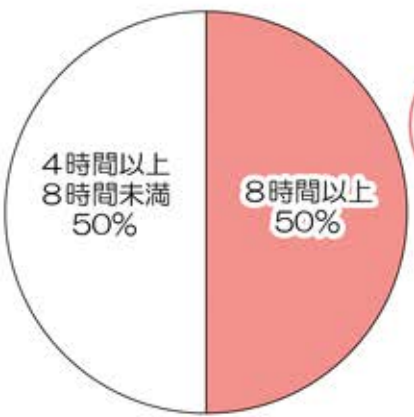
今回は、東学童保育室と西学童保育室の保護者の方にアンケートにご協力をいただき、働きながら子育てをしていくために必要なことについて、考えてみました。アンケート結果の一部を紹介します。

【回答していただいた方 36名/144名中（回収率25%） 女性35名、性別未記入1名 20代1名、30代17名、40代18名】

Q. 週に何日働いていますか？

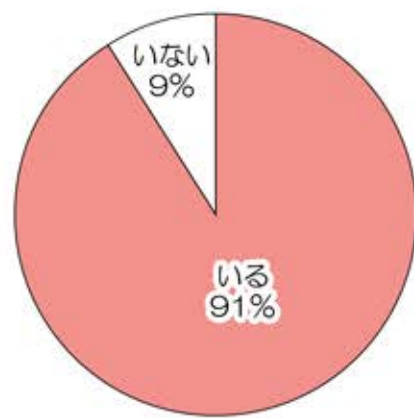


Q. 1日に何時間働いていますか？



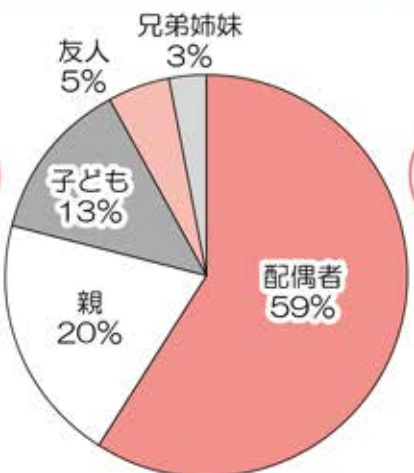
8時間以上働いている人は、すべて週5日勤務の人でした。

Q. 家事・育児を手伝ってくれる人はいますか？



協力的な家庭が多かったようです。

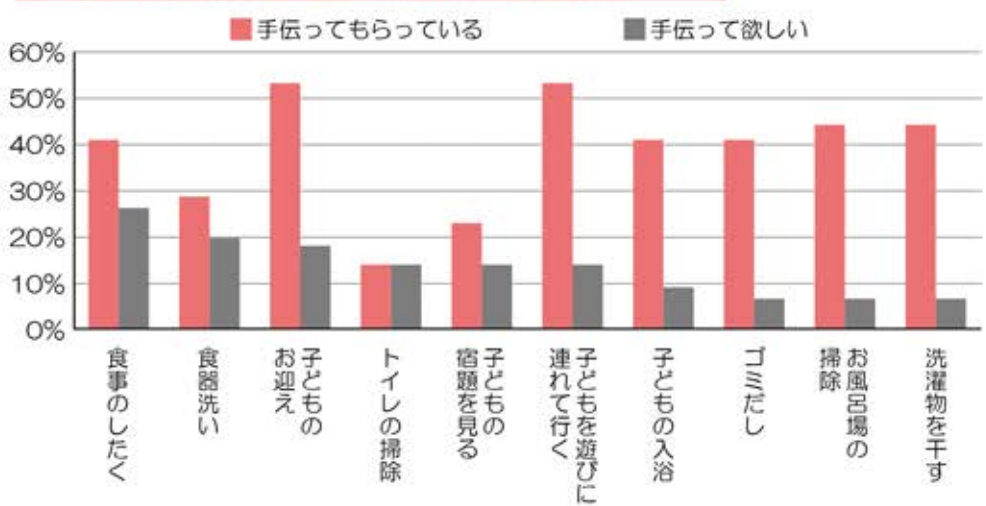
Q. 家事・育児を手伝ってくれるのは誰ですか？



親や配偶者が手伝ってくれると、助かりますね。

Q. 手伝ってもらっている家事・育児は何ですか？
手伝って欲しい家事・育児は何ですか？

※複数回答あり

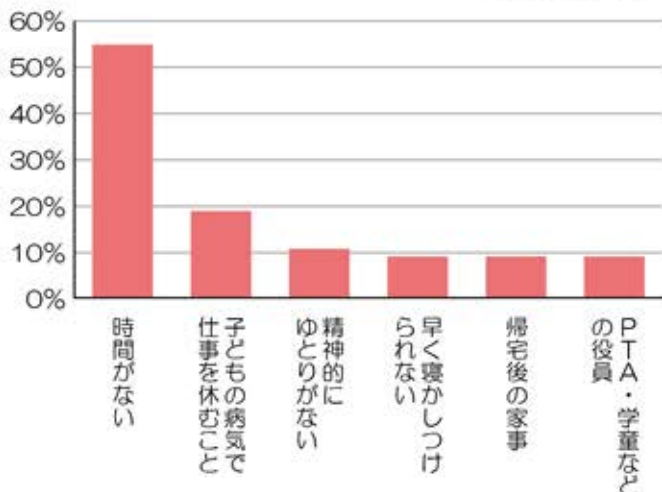


手伝ってもらっている家事・育児で一番多かったのは「子どものお迎え」「子どもを遊ばせて行く」で、育児に関するものでした。手伝って欲しい家事・育児で一番多かったのは「食事のしたく」二番目に多かったのは「食器洗い」で、家事に関するものでした。

手伝って欲しい家事・育児は「特にない。十分協力してもらっている」との意見もありました。

Q. 働きながら子育てをされていて、大変なことは？

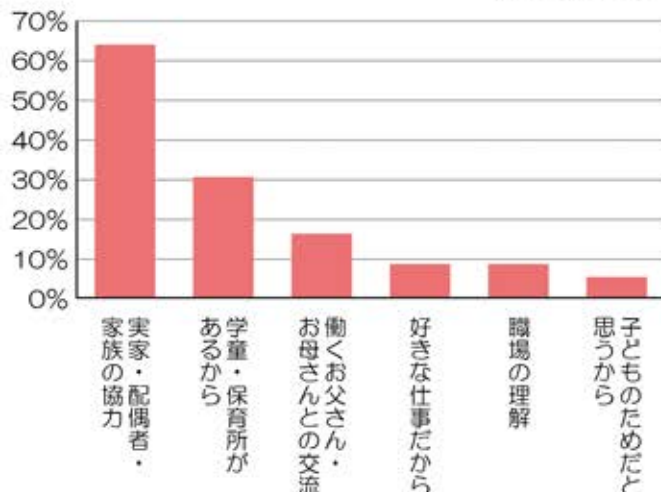
※複数回答あり



「時間がない」が圧倒的に多い意見でした。具体的には、「子どもとゆっくり関わる時間がない」との回答が多かったのですが、「自分のための時間がない」との回答もありました。働くお母さんにとって、時間はとても大切なものだということがわかりました。

Q. 働き続けられている理由は？

※複数回答あり



「実家・配偶者・家族の協力」「学童・保育所があるから」という家事・育児の直接的な支援だけでなく、「働くお父さん・お母さんとの交流」という同じ悩みを共有できる仲間も、仕事と子育ての両立には必要とされていることがわかりました。

こんな意見もありました

- 子育てと仕事の両立というと、乳幼児期のサポートが真っ先に議論されますが、本当に大変なのは思春期だと思います。
- 時間がないので、子どもに対し、「失敗してもいいからやってみよう！」という雰囲気をつくってあげられません。失敗されると、時間がかかってしまうので…。
- 職場に「休む」と言うのは苦痛です。
- どれも全力投球したいけれど、体がついていきません。



こんな意見もありました

- 働き方を変えました。フリーランス（自営業）にしました。
- 自宅から近い職場に変えました。
- 職場にも同じような状況の人がいて、お互い助け合っています。
- 学童を利用している他のお母さんと話したりすると、「お互い頑張りよう！」という気持ちになります。
- いろいろなことを相談できる学童のママ友がいます。



まとめ

今回アンケートに回答していただいた方は、ほぼ女性で、主に家事・育児を担っている方でした。配偶者・親などに協力してもらえる方が多かったのですが、それでも、仕事と子育ての両立に対し、大変さを感じていました。アンケートを通じて仕事と子育てを両立するためには、家庭での協力だけでなく、職場の理解、配偶者の長時間勤務の軽減、学童や保育所などの行政サービス、同じ状況で子育てしている人たちとの交流などが重要だとわかりました。

働きながら子育てしやすい環境をつくるためには、社会全体で取り組んでいく必要があります。

東学童保育室・西学童保育室の職員、保護者のみなさん、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。



男女共同参画コーナーができました

平成26年10月14日の市役所新庁舎の全面オープンと同時に、男女共同参画に関するさまざまな情報を提供し、より理解を深めていただくことを目的として、男女共同参画コーナーを開設しました。市役所にお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。



内閣府や埼玉県の資料、書籍が閲覧できます



打ち合わせスペースがあります



イベント情報などを提供しています



北本市の男女共同参画の取り組みをご紹介します

北本市男女共同参画推進条例	男女共同参画社会の実現に向けて、市民・事業者・市が協働し、男女共同参画をより一層推進するため、平成18年7月1日に施行
北本市男女共同参画審議会	男女共同参画社会の実現をめざし市民の声を市政に反映させるために設置
男女共同参画パネル展	6月の男女共同参画週間、11月の女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、開催
男女共生塾	市民を対象に、男女共同参画に触れ、興味をもってもらうきっかけづくりを目的として開催
職員研修	市職員を対象に、意識啓発の一環として、年1回実施
男女きらきら北本いっしょにプログラム (男女共同参画推進者登録制度)	市民と協働で男女共同参画のまちづくりを行うため、男女共同参画の推進に熱意のある個人、団体または企業を北本市男女共同参画推進者として登録し、その活動を支援

男の料理教室「美食くらぶ」が、10周年を迎えました。

会員は現在16名です。会長の山下明さんの人柄で10年間も続いており、頭が下がります。また、ベテラン教師の松本マサ子先生には、私達男性群の中で料理指導を根気よくやっていただき深く感謝しております。

活動は毎月第一木曜日（基本）朝9時30分～12時の開催ですが、男性群の皆様は朝の目覚めが早い方々が多く、遅くとも8時50分には全員が集まってしまうので、今は9時から始まっております。先生から季節に合った旬の食材・調味料・料理レシピを当日用意していただいています。料理づくりは4班に分かれ、まずは先生が一区切りの料理をつくり、生徒に同じようにつくってもらいます。これを一区切り、一区切りと回を重ねて料理を完成させます。レシピには3～4品のメニューが載っておりますので、一区切りずつ指導する松本マサ子先生の努力に感謝です。

10年を振り返ってみますと、料理をした事の無い生徒が先生に、包丁の置き方や、まな板の使い方ではニオイの薄い物からとか、ニンニクを切るには四隅を利用してとか、いろいろ何回となくご指導を

いただくのですが完熟年の男性たちですので、料理の一区切り指導を受けたのに2～3歩席に戻ったら、どうしたっけ？と聞くのが日常茶飯事です。でも皆さん冗談やら野次やらで和気あいあいと楽しんでおります。

また、先般は、山下会長や、そば打ち名人3名が生徒の中にいますので、手打ちそばと先生指導のそばつゆ・天ぷら料理のコラボで、美味しいそば料理を皆さんにいただきました。年中行事は、新年会・暑気払いを、また、新潟湯沢へ一泊二日の旅もしました。

男の美食くらぶに参加し、友達の輪が広がるのが幸せです。今後も10周年から15周年、20周年と迎えられるように頑張ります。（飯野誠治）



「男女きらきら
北本いっしょに
プログラム」に
参加しませんか？

市では、「男女」が「きらきら」と輝ける北本を、市民のみなさん、事業所のみなさんと「いっしょ」につくっていきなにと、「男女きらきら北本いっしょ」にプログラム（北本市男女共同参画推進者登録制度）を推進しています。団体でも個人でも登録できますので、みなさんの登録をお待ちしています。
問合せ 協働推進課人権推進・男女共同参画担当（直通）048-594-5507

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは？

配偶者、内縁の妻・夫、婚約者など親密な関係にあるパートナーからの暴力をDVと言います。

外で誰かに暴力をふるえば、暴力をふるった人は罪に問われます。家庭の中で暴力をふるった場合はどうでしょうか？同じように、罪に問われるのは当然です。

DVは、男性が被害者になることもあります。しかし、女性が被害者になることが圧倒的に多く、国や県の調査でも、多くの女性が経験している深刻な人権侵害です。

これらはすべてDVです

身体的な暴力

殴る、蹴る、平手打ち、首を絞める、突き飛ばす、など

精神的な暴力

ののしりバカにする、大声でどなる、無視する、脅す、など

経済的な暴力

生活費を渡さない・使わせない、借金を強要する、など

性的な暴力

性行為の強要、避妊に協力しない、無理にポルノ画像を見せる、など

社会的な暴力

自由に外出させない、交友関係を制限する、携帯電話の履歴・メールをチェックする、など

子どもを巻き込む暴力

子どもの前で暴力をふるう・ののしる・バカにする、子どもに悪口をふきこむ、など

こんな誤解、してませんか？

■暴力のきっかけは、ストレスや飲酒なんでしょ？

飲酒や薬物、ストレスなどが暴力をふるうきっかけと思われがちですが、DV加害者に特定のタイプはありません。年齢や職業、収入もいろいろです。職場や地域では穏やかで真面目だと思われている人が、実は家庭で暴力をふるっている場合もあります。

■なぜ、逃げないの？

暴力を繰り返し受けると、身も心も傷つき、逃げる気力も体力も失ってしまいます。また、逃げ出しても生活できないという経済的な理由、見つかって連れ戻されたときの報復への恐怖などのために、逃げるきっかけを失ってしまうのです。

■暴力をふるわれる人にも原因があるのでは？

「言うことをきかないから」など、被害者にも原因があるかのような理由づけは、意に従わなければ暴力をふるってもよいという考え方を前提にしたものです。どんな理由でも、暴力は絶対に許されません。被害者が「自分が悪いのでは…」と思い悩む必要はないのです。



デートDV

「デートDV」とは、恋人などの親密な関係、あるいはそうした関係であった者からの様々な暴力のことです。大人だけでなく、中学生・高校生・大学生などの間でも起きています。相手が、配偶者ではない、同棲もしていない状態であるというだけで、暴力の形態などはDVと何ら変わりません。

暴力をふるう男性は、「女性を思い通りにして当然」「暴力をふるってもいいのだ」という思い込みをもっています。その根底には、「妻や恋人は自分のものなので自分に奉仕して当然」という自分中心、男性優位の考え方があります。

下のチェックリストで、あなたとパートナーの関係を見直してみましょう。いくつチェックがついたらDVと決められるものではありませんが、チェックリストにいくつかあてはまる場合は、あなたとパートナーの間に、力の差があり、相手からコントロールされている可能性があります。

支配があるかのチェックリスト

- パートナーの言うことは絶対だ
- 自分の希望をパートナーに伝えるのは、とてもエネルギーがいる
- パートナーが帰ってくると緊張する
- パートナーがいる前で、電話をしたくない
- パートナーを待たせることはできないと思っている
- 予定より遅く帰るなんてできないと思っている
- パートナーに自分の本音は絶対に言えない
- どんなに自分が楽しんでいても、パートナーの機嫌が悪くなるともう楽しむことはできない
- 子どもがパートナーの気に入らないことをすると、すごくあせる

参考 NPO法人レジリエンス <http://resilience.jp/>

相談窓口一覧

相談窓口	電話番号	受付時間など	内容
市役所女性相談	048-591-1111	予約制	夫や家族、自分自身のことなど
配偶者暴力相談支援センター	048-863-6060	月曜～土曜 9:30～20:30 日曜・祝日 9:30～17:00	夫や交際相手からの暴力や暴言のことなど
With You さいたま	048-600-3800	月曜～土曜 10:00～20:30 祝日・第3木曜日は除く	
With You さいたま (男性相談)	048-601-2175	第4日曜日 11:00～15:00	夫婦や家族、職場での悩みなど
鴻巣警察署	048-543-0110	緊急時は110番	暴力などにより身の危険を感じたら

女性相談（カウンセリング）を開設しています

日常生活の中で、悩んでしまい、なかなか解決の方向が見えなくなっていることはありませんか。

今は、インターネットやテレビなどで、さまざまな情報を得ることができます。しかし、情報があるだけでは、自分がどうしていきたいのかを決めることは難しく、不安や悩みは増すばかりではないでしょうか。

女性相談では、悩んでいる方の気持ちに寄り添い、一緒に解決方法を考えていきます。

誰かに話してみることで、初めて自分の気持ちに気づくこともあります。

今自分が、どうしたいのか。

自分にできることは何なのか。

一人で悩まずに、一緒に考えていきませんか。

女性相談（予約制）

- 相談日 第1・3水曜日 第2月曜日
- ところ 市役所相談室
- 予約・問合せ 協働推進課人権推進・男女共同参画担当 Tel.048-591-1111 内線2229

夫との関係…

夫が、家事や育児に協力してくれない。夫から「役立たず」と言われてつらい。

彼のこと…

彼が話を聞いてくれない。彼の言うとおりにしないとキれる。

自分自身について

ついネガティブな考え方をしてしまう。

子どもの問題

子どもとうまくコミュニケーションがとれずに困っている。

親、親族のこと

母親との関係がぎくしゃくし、うまく会話ができない。

からだのこと

親には言いづらい。病院に行こうか迷っている。



編集後記

- ☆新しい編集委員とともに取り組んだ21号のシンフォニーは、「子育て」に目を向けて意見を出しあいました。北本市も児童館を建設し、「きたもと子育て応援ガイド」を作成するなど、子育て応援に力を入れています。情報を発信するだけでなく、市民の意見に耳を傾け、今後のシンフォニーにいかせるよう頑張っていきたいと思います。一緒に参加して、みんなでつくる楽しさを体験してみませんか？いつでもお待ちしております。（木村利江子）
- ☆1日何時間かでも仕事をしながらの子育て、大変だったことを思い出しながら、編集会議に参加していました。これからは多くの女性が仕事を続けていく時代。家族の協力だけでなく、ご近所でも、地域でも、歩いていても、声をかけあえる、助けあえる、優しさのあふれる街に、そして働きながらでも育児をしやすい北本市になるといいなあと思いました。（邨山真理）
- ☆なかなか難しい仕事と子育ての両立。子育ては女性の仕事と思わずに、いかにみんなで協力してやっていけるかが大事だと思います。時間がなかったり、体力的にきつい時もありますが、子どもが元気で無事育ってくれたなら、それで幸せ！一緒に頑張っていきましょう！（若山麻紀）

シンフォニーとは

「シンフォニー」とは交響曲のこと。いろいろな楽器が響き合って一つの曲を奏でるように、男女が力を出しあって、調和のとれた男女共同参画社会を創造できるようにと名づけられたものです。

シンフォニー21号はいかがでしたか？ みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています。

編集協力員募集

シンフォニーは市民の編集協力員によって企画・編集されています。シンフォニーをいっしょにつくってみませんか？ 興味のある方は、協働推進課（電話594-5507）まで お問合せください。



北本市は地球環境に配慮した取り組みを進めています。



企画・編集 男女共同参画情報紙「シンフォニー」編集協力員

発行 北本市総合政策部協働推進課

〒364-8633 北本市本町1丁目111番地 TEL.048-591-1111 (代表)

シンフォニー

第21号 2015年3月発行